



編集と発行
役議市審白企石画所室
白石市桜小路35
TEL(代)2111
発行定日 毎月1日
(売価1部2円)

11月26日～12月2日

秋の火災予防運動

午後10時は消防の時間です

おやすみ前に火の元をたしかめましょう

十一月にはいると空気が乾燥し、強い北風が吹くなど火災になりやすい気象条件となります、また一般に暖房など火気の使用が多くなり火災シーズンともなりかねません。

火災の原因をみると石油ストーブや電気こたつなどの暖房器具の火災が目立ち、また最近はプロパンガスの普及に伴なつてこの火災事故も全国的に増加しています。

また、寒さとともに子どもの火遊びも危険です。そこで暖房器具やプロパンガス器具などの点検を充分におこない火災を未然に防ぐようご協力ください。

お次に暖房器具の安全な使い方についてのべてみます。

（1）暖房器具の安全な使い方

▽ガス器具は元栓をしめる習慣をつけること。

（2）プロパンガスの安全な使い方

おぐこと。

▽道具の手入れ（掃除）点検をすること。

▽換気をよくすること。

▽ボンベは必ず屋外の風通しのよい所に、倒れないようにしておくこと。

▽年賀はがきを差し出すときには必ず次のことをまもってください。

▽年賀ハガキは、できるだけまとめて束ね、上部に「年賀郵便」と書いた付せんをつけて差し出すこと。

▽お年玉つき年賀はがき以外のものを一通ずつ差し出すときは、一通ごとに裏面のあて名の左側に「年賀」と朱書きして差し出すこと。

市内の消防演習日程

11月1日	越河	分団	お年玉つきハガキの二種類です。
26日	白川	分団	昭和四十三年用のお年玉つき年賀ハガキを十一月一日から全国一斉に売り出されます。
25日	小原	分団	お年玉つき七円ハガキと
22日	白石	分団	寄付金つき八円ハガキの二種類です。
20日	大鷲沢	分団	
19日	福岡	分団	
17日	大平	分団	
15日	小路	分団	

お年玉つき年賀ハガキの発売



▽石油ストーブの給油は火を消してからにする、また油もれはよくふきとつておくこと。
▽火を消したら完全に消えただかをたしかめること。
▽電気器具は必ずコードをコンセントからはずして

▼統制小作料の改定▲

最近における農業の生産条件、農産物の価格条件などの変化にともない、農地法第二十一条第一項の規定に基づく小作料の最高額が昭和四十二年九月一日から次とのおり改定されました。

昭和四十二年度の小作料なおわしいことは市の農業委員会にお問い合わせください。

かぜと高血圧

寒くなりました。かぜをひきやすい季節です。冬の初めにかぜをひくとひと冬おりきらないような感じがするものです。それには寒暖にあわせて衣類をうまく着たり、寝室に冷たい空気がはりこまないようにすることです。体力の充実もたいせつ、

日ごろから、たん白質、脂肪、野菜類を十分とするようにし、つとめて運動をするように心がけることです。「かぜは万病のもと」といわれていますが、まさにそのとおり心得て、ますます、かぜをひかないようになります。かぜをひかないようにいたしましよう。

- ① 急に寒い戸外へ出ないこと。
- ② 夜間、急に起き上がつて寒い便所へうす着のまま行かないこと、いやでもシビンを使うこと。
- ③ 便秘をしないようにする。
- ④ 食べすぎはいけません
- ⑤ 過激な運動をつつしむ
- ⑥ 腹をたてないこと



- 文化財を汚すは自分の顔を自分で汚すようなもの
- 強い北風や吹雪などによつたり、アンテナの方向がくるつたり、支柱がたおれたりしないようにしつかり固定します。

畑の部		田の部	
農地の等級	10アール当たりの小作料の額	農地の等級	10アール当たりの小作料の額
1 級	2.170円	1 級	5.688円
2 ク	2.073	2 ク	5.444
3 ク	1.973	3 ク	5.204
4 ク	1.875	4 ク	4.960
5 ク	1.778	5 ク	4.720
6 ク	1.680	6 ク	4.476
7 ク	1.580	7 ク	4.236
8 ク	1.483	8 ク	3.992
9 ク	1.385	9 ク	3.752
10 ク	1.285	10 ク	3.518
11 ク	1.188	11 ク	3.268
12 ク	1.090	12 ク	3.024
13 ク	990	13 ハ	2.784
14 ク	893	14 ハ	2.540
15 ク	795	15 ク	2.300

▼テレビの豆知識▲

もう、冬がついそこまで近づいて来ています。コタツを囲みながらテレビを楽しむ一家だらんの

今月の納税

11月30日……納期

お忘れなく早めに納めましょう

国民健康保険税 第四期

ひとこまは、冬ならでは見られぬものです。

そこで、冬にそなえてテレビアンテナやファイダ1の再点検をしましよう。アンテナが古くなつて折れかかつていたら、新しいものと交換しましょう。

アンテナに雪がつもると雪の重さでアンテナが折れることがあります。

○ フィーダーとアンテナの結び目がゆるんでいたらしつかり止め、フィーダーも古くなつていたら思い切つて取替えましょう。

屋根の上などにフィーダーをぶらぶら垂らしていると、雪がすべり落ちるときがあります。

○ 強い北風や吹雪などによつたり、アンテナの方向がくるつたり、支柱がたおれたりしないようにしつかり固定します。